

日野市中央公民館の  
運営の状況に関する評価書

—平成24年度（2012年度）事業について—

平成25年9月  
日野市中央公民館

## 目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 評価の対象	1
平成 24 年度中央公民館基本方針	2
4. 評価の実施方法	2
5. 公民館運営審議会の総評	3
6. 公民館の自己評価	3
7. 公民館施策・事業評価票[基本施策（1）～（10）]	4～13
基本施策（1）	4
基本施策（2）	5
基本施策（3）	6
基本施策（4）	7
基本施策（5）	8
基本施策（6）	9
基本施策（7）	10
基本施策（8）	11
基本施策（9）	12
基本施策（10）	13
資料 1	
日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料	14～33
資料 2	
日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	34
資料 3	
公民館運営審議会委員名簿	35

## 1. はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

## 2. 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

## 3. 評価の対象

評価の対象は、公民館が年度ごとに設けている基本方針の中の基本施策としました。

## 平成24年度中央公民館基本方針

### 1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

### 2 基本施策

- (1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。
- (2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。
- (3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。
- (4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。
- (5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。
- (9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するよう事業を展開する。
- (10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

### 3 重点施策

- (1) 市民の森ふれあいホールを活用した公民館事業の展開
- (2) 市民・利用者とともに公民館基本計画の推進
- (3) 公民館独自のホームページを活用した広報活動の充実
- (4) 中央公民館を含む同一敷地内若しくは周辺敷地内の公共施設群のあり方の検討

## 4. 評価の実施方法

評価を行うに当たっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である公民館運営審議会（資料3名簿参照）の意見を伺いながら行いました。

本評価は施策評価であるため、公民館の運営状況に関する評価のための資料（平成 24 年度中央公民館重点施策と事業）を作成し、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、それをもとに評価を行いました。

## 5. 公民館運営審議会の総評

- ・全体的には公民館基本構想・基本計画に基づく「10の基本施策」や「重点施策」に沿って事業が展開されており、また限られた予算の中で様々な事業に工夫がなされていたため、一定の成果があったものと評価したい。ただ、基本施策に基づく事業を平均的に展開することも大切だが、「日野市にある公民館」として、また「民間ではなく公共」が実施することの意味と意義を考えなければならない。
- ・今後も地域的偏在の問題に配慮するとともに、公民館事業の企画・運営に幅広い市民の参画を推進することで、公民館を地域の市民交流の場としていくことを模索し、そのために得意分野をもつ市民講師・指導者を発掘したり、企画について市民から募る仕組みをつくったりするなど、「開かれた公民館」をめざしてほしい。
- ・毎年同様の事業を実施している例も見られるが、狙いと効果を十分に見極めて、変えたほうが望ましいことは思い切って変える勇気を持ってほしい。

## 6. 公民館の自己評価

- ・平成 24 年度の公民館事業については参加された市民の方からは概ね好評であったが、思うように参加者が集まらないものもあり、市民や時代のニーズにこたえられるような事業内容を検討していきたい。
- ・公民館施設が 1 館 1 分室しかないため、これからも市内の公共施設を利活用し、地域偏在の解消に向けて一層の努力をしたい。
- ・公民館利用者や受講者の年齢層が全体的に高くなってしまっている。青壮年層にいかにか公民館事業に参加・参画してもらおうか、検討する必要がある。これからもよりわかりやすくホームページづくりやチラシづくりを行い、一人でも多くの市民のみなさんの公民館事業への参加・参画してもらえよう機会を提供していきたい。
- ・公民館を利用しているサークルが、交流し、学びあいが深められるような仕組みをつくってほしい。また、公民館活動から育った人々が、地域づくり、まちづくりで活躍できる「人と人」、「人と地域」がつながるような仕組みを構築し、学びの輪を広げてほしい。

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「サロン・ド・俳句」「朗読サロン」「うたごえひろば」「ケーキ作り講座～パティシエに挑戦」「パソコン講座」等、全20講座、2回の映画会を開催した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>市民が楽しく学び、集うことを目標とした施策展開であり、おおむねその目的は達成できている。また、いくつかの事業においてはサークル化も進み、新たな市民の学びの輪が生まれている。一方で、高齢者や青少年を対象とした事業の中には、ニーズは高いものの、サークル化にはなじまないものもある。</p> <p>そうした中で、数年間継続している事業もいくつかあるが、内容については適宜見直しをしつつ、改善を重ねながら、幅広い市民の参加をいただいている。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>市民のニーズが高く、定員を上回る事業であっても、サークル化の可否や、新たな学びの要求などに常に配慮しつつ、内容の改善や見直しを含めた検討を重ねていく必要がある。</p> <p>世代別にみると青年層を対象とした事業があまりないが、青年層が何を学びたいか、どんな集いの場を求めているのかを把握する手法と、公民館からの発信の方法を合わせて確立し、新たな事業展開につなげていきたい。</p> <p>事業によっては、会場を変えて実施することで、より幅広い市民の参加が期待できる事業もある。そうしたニーズを的確に把握し、市内各公共施設の積極的な活用を図ることが大切である。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>幅広いジャンルの講座が展開され、また、「俳句」「ケーキ作り」についてサークル化がされたことは評価できる。</p> <p>この基本施策Ⅰについては、どこまでを公民館として行う必要があるのか、また「ひの市民大学」を公民館で実施することの意味及び存続の意義を再度確認する必要があると考えられる。</p> <p>「集って生きる」とは、異世代交流・三世代交流を意識した事業展開も必要ではないだろうか。これらの課題はこれから策定される生涯学習推進計画の中で位置づけを再度検討すべきである。</p>
---

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「障害者青年・成人学級」「国際友好講座・理解講座」「ママのための”これだけは押さえない”お金と仕事の基本」「話し上手は聴き上手」等9講座・事業を開催した。                  詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>障害児少年学級、障害者青年学級・成人学級は、集団活動から社会性を学ぶ良い機会となっている。また、定例会や分科会を通して、共に生きる仲間としての意識が育っている。                  日本語教室では、市民が受講生に日本語や日本の文化・習慣について教える中で、受講生の日常生活の質の向上に役立つものとなっている。                  また、国際理解講座では、各国の留学生などから直接話を聞くことで、市民の国際理解を深める機会となっている。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>障害児少年学級は、保護者や学生ボランティアが協力して、障害を持つ学級生が校外生活における経験を深められる場となっているが、対象となる児童・生徒の総数に対する参加率が高いとは言えない面もある。新たな事業展開を行うためには、ボランティアを含めた参加者層の広がりが必要である。今後、保護者層への活動内容の周知や、学校関係者との連携、新たなボランティアの確保などが重要である。                  障害者青年学級・成人学級は、長年の活動の中で、メンバーの入れ替わりなどの要因もあり、学級生一人ひとりに本来の理念や活動の蓄積が継承されづらくなっている面は否めない。新たな事業展開を視野に入れて、学級全体で活動のあり方について話し合い、長期展望をつくっていく必要がある。                  国際理解においては、地域やテーマを絞るなど、市民の理解につながるような事業展開をすすめる。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>国際交流や障害者・障害児を対象とした事業をしっかりと展開することは、公民館における「学びの機会均等」を示すために、非常に重要なものと思う。                  ただし、ノーマライゼーションを主眼とした障害者青年・成人学級では、持続的な事業展開のために参加者を増やし、その中から運営に係る人材の確保をきちんと考えることが必要であり、また、障害児少年学級についても運営や事業実施に係る人材の確保をきちんと対策していくことが必要であろう。</p>
--

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「夏休み集まれ！小学生わくわく学習術」「ひのさんぼ」「日野産ブルーベリーでパンを作ろう」「初心者のためのココロとカラダすっきりヨガ講座等8講座・事業と1回の映画会を開催した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>健康志向や地産地消などに興味のある市民の方々が増えてきているため多くの参加者を得ている。主に高齢者の健康のための散歩に歴史や文化を加味した「ひのさんぼ」は、ほぼ市内全域を一巡りした。</p> <p>小学生を対象とした「ひのっ子シェフコンテスト」や親子を対象とした「日野産ブルーベリーでパンを作ろう」などを通じて参加者の多くが食育や食べ物に対する考え方を学ぶ機会となった。</p> <p>「初心者のためのココロとカラダすっきりヨガ講座」は健康を考える一助となり、サークル化した。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>概ね良好に実施できている。心と体の健康について講座をいくつか実施したが、宣伝不足のため予定していた参加者を得られなかった。特に老いにおける心の健康へと結びつく講座は重要なので継続する。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>心と体の健康という大切な内容を考える機会が広範な市民に得られるよう、一層の努力が必要と思われるが、参加者をどのように増やすか、市民や社会のニーズにあった形の事業をどう展開するか、考えなくてはいけない課題は多くあろう。</p> <p>公民館として、どのような切り口でテーマの設定をしていくのか、十分な検討が必要であらう。</p> <p>また、高齢化に伴い、さらに長くなるリタイア後の生活や、老後の生活への対応など、非常に重要なテーマを含んでいると思う。</p>
--

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「サツマイモを育てよう」「大豆を育てて自家製豆腐作り」等3講座・事業と2回の映画会を開催した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>米づくりやさつまいもづくり等を通じた農業体験により自然への接し方、自然の厳しさを学び、地域環境への配慮の必要性への理解や持続可能な社会環境の整備の必要性を啓発することができた。映画では環境に対する考え方、見方を見直す機会となった。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>環境については必要な学びであり、また市民自身が常に考えていかなければならない事業ではある。農業や環境の所管部署の活動などから公民館講座と重なり合うことが増えてきているため、より綿密に調整し、連携をおこなっていく。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>農業体験をはじめ、日野市らしい自然とのふれあいについての事業を展開していることは、評価できる。自然と人間の共生という重要で永遠の命題を、いろいろな視点から考える講座を実施していただければ、さらによろしいかと思う。</p>
---

# 公民館施策・事業評価表

## 24年度

### 1. 基本施策名

基本施策名	(5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

### 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「犯罪被害者支援講座」「親こそ知って欲しい 子どもへのアニメの影響～メディアから暴力とジェンダーを考える」「災害から地域を守る～大震災から二年」の3講座を開催した。詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する』に記載。</p>

### 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>「災害から地域を守る」では、東日本大震災の現地の状況と合わせた報告があった。日野での市民の防災活動等の報告を聞き、市民の安全への意識の变革や防災意識の醸成につながった。犯罪被害者支援は、参加者が少数であったものの充実した内容となった。</p>

### 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>震災の記憶を風化させず、伝えながら次に対応していく必要がある。各課において様々な切り口で講座や講演会が同時期に行われた。公民館で講座を企画する際に、事前に調整を行い、重複しないものとしていくことが重要である。</p> <p>また犯罪被害者支援については重いテーマであり参加者が少ないが、一人でも多くの理解者を増やすことが必要である。</p>

### 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>防災・防犯という重要不可欠なテーマが含まれているが、思うように参加者が伸びない状況にあるかと思う。公民館の講座として、引き続き実施することが望まれるが、関係課や学校等の連携をもちながら、継続的な開催が必要だと思う。</p>
--

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「七生村の歴史を学ぶ～明治時代から日野町合併まで」「南北朝時代 日野地域の武将-高麗助綱と山内経之-」の2講座を開催した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>わがまち日野（七生地域）について講座や散策等の実践を交えて理解を深めることができた。両講座とも定員を超える参加者があり、「これまで知らなかった郷土の歴史を学ぶことで、新たな日野市を知ることができた」という声があった。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>高齢者のみならず、子どもや「新住民」が気軽に参加できるような講座づくりを行っていく。また、地域に根ざした産業や伝承等で郷土資料館事業との棲み分け・連携を行っていく。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>地域の歴史や文化を様々な切り口で事業を展開することが望まれる。これからも、日野市にある公民館として、多くの市民に関心が持たれるような内容を期待する。</p>
---

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「バラエティサロン」(6回)、「クラシック講座～ロシアの作曲家」と「公民館まつり」「高幡台分室まつり」「ひのアートフェスティバル」を開催した。                  詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>2か月毎にバラエティサロンを実施した。多摩地域を中心とした出演者による様々な内容を通じて地域の新しい文化の創造に寄与できた。                  第25回公民館まつりと第16回アートフェスティバルでは、例年通り多くの市民が集い、楽しんだ。また、リユース食器の利用による環境に配慮したまつりが実施できた。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>バラエティサロンは、日野市や多摩地域の様々なジャンルの演者から継続して新たな人材を発掘していく。                  公民館まつりでは、発表や展示の参加サークルが減少した。当日の観覧者にも減少が見られたためより多くのサークルがまつりに参加するよう声かけをしていく。また、多くの市民に公民館を知ってもらうために、まつりを充実していく。                  アートフェスティバルでは、基盤となっていた森(自然体験広場)が公園として整備されたため、都市計画公園としての新たな使用上の制約が発生した。今後、この公園内でのフェスティバル継続に向けて実行委員会内で方法論やあり方について協議をしていく。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>バラエティサロンでは、さまざまなステージが展開されたことについて評価する。今後も期待している。                  イベント(公民館まつり、アートフェスティバル)については、より多くの幅広い市民やサークル・団体の参加となるよう、工夫が必要と思う。</p>
---

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「8月になにがあった～次の世代に伝える戦争と平和」「みんなで学ぶ裁判員制度」「市民のための地方自治」「平和アニメ映画会」と2回の映画会を開催した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>一つひとつが重い事業ではあるが、戦争や憲法、地方自治について学び、参加者同士で話し合い考えることは非常に大事である。</p> <p>平和事業は一つの形ができたが参加者の広がりが少ない状況にある。</p> <p>「平和映画」、「平和アニメ映画会」では、平和の尊さ、安心できる社会の構築の必要性をわかりやすく伝えることができた。</p> <p>裁判員制度の講座は、参加者は少数であったが継続することが必要である。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>参加者が全体として少ないことが一番の課題であり、一人でも多くの市民に参加してもらえる広報手段の充実や手法の開発について検討していく。</p> <p>平和事業には、様々なサークルの協力を得て活性化を図っていく。</p> <p>裁判員制度の講座については、引き続き実施していく。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>憲法・平和・人権・地方自治という重要で難しいテーマを含む施策ですが、必要な講座として展開したことは評価する。ただ、どのように参加者を増やしていくのか、創意工夫が必要かと思う。</p>
--

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「思いを伝えるための話し方講座」「おもちゃドクター養成講座 おもちゃドクターになろう」を実施した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>「思いを伝えるための話し方講座」参加者は人に思いを伝え、周囲の人たちとどのようにしたら暖かい関係を作れるかを学べた。「おもちゃドクターになろう」では社会貢献、社会参加の仕方の一端が学べた。</p> <p>また、講座ではないが、陶芸連絡会や公民館の大掃除では日ごろ接することの少ない他のサークルのメンバーと一緒に作業や会議をすることで利用者同士の交流が図れた。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>話し方のテクニックを学んだ受講生に新たな活躍の場が少ない。今後、講座の運営などで活躍する場や機会を提供していく。</p> <p>おもちゃドクターになろうでは、社会参加の一つの形態を学ぶことができ、サークルへの参加も実現したが、他の講座では参加者一人ひとりのフォローアップが大きな課題となっている。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>地域におけるリーダー育成というテーマだが、どのような「リーダー」なのか、が具体的に見えていないと思われる。各分野で必要となるリーダー像を把握したうえで、関係機関とも連携をしながら、そこを目指す事業展開をしていくことが重要であろう。</p>
--

# 公民館施策・事業評価表

24年度

## 1. 基本施策名

基本施策名	(10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。	施策・事業開始年度	平成	
			21	年度

## 2. 取組事業の概要

取組事業の概要	
事業の内容	<p>「わがまち日野市の財政を理解しよう(前期・後期)」「老後の備えを万全に」「公民館だよりの発行」など5講座・事業を実施した。</p> <p>詳細は日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料の『(10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する』に記載。</p>

## 3. 事業の成果・評価

成果・評価
<p>「老後の備えを万全に」では参加者の意識の高さを感じ、また学ぶ意欲が強かった。程久保うたごえパークでは団地の中で暮らす高齢者が集って学び絆を作っていくことができた。公民館だよりでは、サークルの紹介や身近な風景を紹介しながら、紙面全体に興味を示してもらうことができた。</p>

## 4. 事業の課題・問題

事業の課題・問題
<p>生活に直結する課題やテーマが多く、参加が難しいものもあった。市民がより多く参加し、話し合いや交流ができるように工夫していく。</p> <p>公民館だよりの編集・配布方法が変更され、市民に十分に情報が伝わらない状況にある。今後、公民館からの情報発信について、新たな手法を検討する。</p>

## 5. 公民館運営審議会委員の評価・意見

<p>24年度から「公民館だより」の編集・配布方法が大きく変わり、全市民の目に届くことが不可能になった。公民館の存在を広く知らせるためには、この形でいいのかどうか、十分な検討が必要かと思う。事業の展開については、今後とも、「市民の生活に根ざした」の視点をしっかりと認識をして進めてほしい。</p>
--

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(1)市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	11	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	890,500
--------	----	-------------------	---------

1	高齢者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	サロン・ド・俳句		
内容	事前に作った自作の俳句を講座開催時に発表し、俳句を通して参加者同士が交流した。特に講師は置かず、参加者がお互いに句評を行った。	俳句を通して参加者同士が意見を言うことにより交流を深めることができた。講座として6年近く開催したが、平成25年4月にサークルとして新たにスタートした。	講師がいない自主講座となったため、参加者同士の融和をはって次年度からの自主サークルを維持する土台作りを進めていく。
会場	中央公民館高幡台分室		
期日	4/5 5/10 6/7 7/5 8/2 9/6 10/4 11/1 12/6 1/10 2/7 3/7	ねらい・目的	対象
講師	なし		高齢者
講師謝礼	0	俳句を通じて参加者同士の交流を図り、自主サークル化を目指してサークルづくり支援を行う。	実施時間
募集人数			概ね月1回第2木曜日、午後2時～4時まで
参加者延べ人数	207		

2	高齢者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	朗読サロン		
内容	小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象にして、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流や仲間作りを行うこと、及び日常生活における生きがい・楽しみを見出していたくことを目的として実施した。また、同時に公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供する”ことができた。	毎回毎回、各サークルの特徴ある作品選びによって、様々な名作や、あまり知られていない佳作に出会い、新たな発見・出会いと驚きを体験できた。また、郷土に伝わる伝承等の聞き書きを朗読を通じて伝えられた。	今後は読み手の各サークルの人達と参加者の触れ合いや交流を上手に図るかが課題である。
会場	中央公民館高幡台分室		
期日	4/19 5/17 6/21 7/19 8/16 9/20 11/15 1/17 2/21	ねらい・目的	対象
講師	朗読の会「うづき」代表 篠原 ひろみ、「のんど会」代表 古木麻紀子、日野にじの会代表 今井潤子		高齢者(概ね60歳)
講師謝礼	0	小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象にして、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図る。	実施時間
募集人数			月1回、第3木曜日、午前10時～午前11時30分
参加者延べ人数	151		

3	高齢者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	うたごえひろば		
内容	多くの参加者が歌を通じて高齢者の一時、心身をリフレッシュし、一緒に歌うことで仲間作りを行うこと、及び日常生活における生きがい・楽しみを見出していたくことができた。	会場に集い他の受講者とともに大声で歌うことが、心身両面からの健康促進のための一助となっている。	数年来実施し多くの参加者を得、参加者からは必要性を訴えられる講座ではあるが、自主サークル化を図るには参加者にその体力がなく、組織化に大きな課題がある。
会場	中央福祉センター		
期日	4/28 5/26 6/16 7/28 9/29 10/27 11/24 1/19 2/23 3/16	ねらい・目的	対象
講師	西野 益右ほか		高齢者(概ね60歳以上の男女)
講師謝礼	80,000	歌を通じて高齢者の心身をリフレッシュし健康促進とともに仲間作りを行うこと及び日常生活における生きがい・楽しみを見出していたくことを目的とする。	実施時間
募集人数	各回80人		概ね毎月1回第4土曜日、午後2時～4時
参加者延べ人数	723		

4	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	ケーキ作り講座～パティシエに挑戦		
内容	今までケーキを作った経験のない人や作る機会が少ない人向けの講座。ケーキ作りを通して、地域の仲間との交流を深め、集うことの素晴らしさを実感してもらおう。講座終了後のサークル化を目指した。 ※ 自主サークルができた。	初心者がよりたくさんの種類のケーキ作りが体験できるように、1回の講座で2種類のケーキを学んだ。講座終了後、サークル化が実現できた。	講座終了後、サークル化が実現できたが、サークル活動が軌道に乗るまでは、ある程度の助言が必要。
会場	市民の森ふれあいホール 中央公民館		
期日	9/14 9/28 10/26 11/9 11/16	ねらい・目的	対象
講師	鈴木 直美(料理研究家)		市内在住、在勤の成人
講師謝礼	32,000	「ケーキ作り」を通して、地域の仲間との交流を深め、集うことの素晴らしさを実感していただくことを目的とする。	実施時間
募集人数	16		土曜日、午前10時から正午
参加者延べ人数	122		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(1)市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	11	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	890,500
--------	----	-------------------	---------

5	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	パソコン講座「パソコンを使って楽々ライフ」	受講者は超初心者ということでかなり苦労している人もいたが、講師の丁寧な説明でひととおり修了し、パソコンを使う楽しさ便利さを堪能していただけた。	学ぶ上での情報弱者を失くすための講座を開いたが、受講者の中にステップアップ講座の希望するものがあった。今後何処までの講座とするかを再検討が必要。
内容	パソコン超初心者対象にした講座。パソコンの楽しさを実感できることを目的に、ワード、インターネットを中心に学んだ。		
会場	中央公民館高幡台分室		
期日	11/30 12/7 12/14 12/21 1/11	ねらい・目的	対象
講師	シニアネットクラブ会員	情報弱者になりがちな方、パソコンを触ったことがない、使い方が分からない、という方に対して、パソコンの初歩的な操作方法を伝えることにより、その便利さや楽しさを知り、新たな情報ツールを活用していただくことを目的とする。	成人(パソコンの超初心者)
講師謝礼	50,000		実施時間
募集人数	15		金曜日、午後2時～4時
参加者延べ人数	71		

6	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	パソコン講座「パソコンを使って楽々ライフ」	全くの初心者の方にパソコンの基本操作を学んでいただくことで、その便利さを知り活用していくためのきっかけ作りができた。	パソコン講座受講希望者は多いが、個人ごとに習熟度が異なり、適切なテーマ及び対象者の設定を要する。
内容	パソコン超初心者対象にした講座。パソコンの楽しさを実感できることを目的に、ワード、インターネットを中心に学んだ。		
会場	豊田駅北交流センター		
期日	2/21 2/28 3/7 3/14 3/2	ねらい・目的	対象
講師	シニアネットクラブ会員	生活必需品といえるほどに普及しているインターネットを上手に活用するための基礎を学ぶため。	成人
講師謝礼	50,000		実施時間
募集人数	16		午前9時30分～11時30分
参加者延べ人数	80		

7	青少年事業	担当者評価	これからの課題
事業名	夢の車をつくろう～子どもカーデザイン教室	参加者や保護者から満足度も高く、日野自動車からのサポートも充実している。	クレイモデルをつくるだけではなく、実際にデザイン部が行っている「モノ」に触れて感じ、車がどのような工程を経てつくられているかまたデザインという仕事がどのようなものなのかを体感できる内容にしたい。
内容	個人個人がつくってみたい車のデザインをもとに、立体モデルをつくる。		
会場	日野自動車デザインセンター		
期日	3/20 3/28	ねらい・目的	対象
講師	日野自動車デザインセンター	日野自動車の協力によりプロデザイナー指導によって「ものづくり」のすごさ、醍醐味を知り、各自がデザインし、それを具現化する「ものづくり」の過程と視点を学び、ものづくりに挑戦する気持ちの醸成をはかることを目的とした。	青少年(小学校3年～中学生)
講師謝礼	60,000		実施時間
募集人数	15		祝日及び春季休業日、午後1時30分～4時30分
参加者延べ人数	30		

8	公民館映画会	担当者評価	これからの課題
事業名	「駅前開運」	アンケートの集計結果から、楽しくて娯楽性のある昔懐かしい映画を選出したが、想定したほどお客様の足が伸びなかった。	今日的な話題性に欠けてしまったことが客足が伸びなかった原因と思われる。現代とのマッチングや接点について選択の時点で考えることが必要。
内容	午前・午後 2回上映		
会場	中央公民館		
期日	10/27	ねらい・目的	対象
講師	なし、	景気が悪く、暗い出来事が多く起こっている今の社会で、少しでも明るくなれるような作品を鑑賞して、参加者の様々な思いを集って話し合うことを目的とした。	一般市民(高齢・成人・青年)
フィルム借上げ料	52,500		実施時間
募集人数	120		土曜日の 午前:10時～ 午後1時30分 ~ の2回上映
参加者延べ人数	44		

9	公民館映画会	担当者評価	これからの課題
事業名	次郎物語	親子の愛について大変感動していただけた。生きることの素晴らしさを実感できる内容であった。	子育て中の保護者に観て戴けるように、保育付きとしたが、映画内容の選択に課題が残る。
内容	午前・午後 2回上映		
会場	中央公民館		
期日	12/8	ねらい・目的	対象
講師		親と子の心のふれあいを描いた古典的名作を鑑賞し、この作品について参加者自身の様々な思いが話し合える環境をつくることを目的とした。	一般市民(高齢・成人・青年・少年)
フィルム借上げ料	0		実施時間
募集人数	120		土曜日の 午前:10時～ 午後1時30分 ~ の2回上映
参加者延べ人数	46		

10	青少年事業	担当者評価	これからの課題
事業名	春休みわくわく学習術	今回は人気のあるガリレオ工房等から講師を招いて光の性質をテーマに、さまざまに工夫された独自の科学実験を行った。身近にあるものを使って実験を行い、その実験結果を時間の経過とともにグラフに落とし、将来予測を行うと同時に、ある傾向(性質)が判る仕掛けになっていて、光の性質という難解なテーマも、児童にとっても分かり易く理解出来た。	恒例の春わくは毎回テーマを決めて実施しているが、取り扱うテーマの内容によっては対象学年を絞った方がより効果的である。初歩と専門的な学びをどのように配置するかが課題。一番下の3年生の学力を前提にして内容を決定しているため学年に応じた興味、関心を満足させることが課題。
内容	「光」をテーマに実験を行い、その原理をやさしく・わかりやすく解説する学校の授業とは一味違った体験学習を行った。学年を越えた異年齢との交流を図れる講座とした。 ①「灯台を作って光の特性を知ろう!」 ②「光と影について知ろう!」 ③「紫外線について知ろう!」 ④「赤外線について知ろう!」		
会場	①と②福祉支援センター ③と④公民館高幡台分室		
期日	①②3/26 ③④3/27	ねらい・目的	対象
講師	①小西正之(アジレント・テクノロジー株) ②大道芸団マアム ③④白数哲久(ガリレオ工房理事)	ふだん学校の授業では、時間などの関係で体験できないような学習を異年齢の子どもたちが春休みに体験・交流し、科学の不思議さ、面白さを学ぶことを目的とする。	小学3年生～小学6年生
講師謝礼	90,000		実施時間
募集人数	20		春季休業期間の平日、 午前の部:午前10時から正午 午後の部:午後1時から午後3時
参加者延べ人数	85		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(1)市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	11	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	890,500
--------	----	-------------------	---------

11	ひの市民大学	講師謝礼計	476,000	担当者評価		
事業名	①開講式 講演会 ②西洋美術史「西洋美術入門」 ③歴史講座「ヨーロッパ歴史散歩」 ④音楽あれこれ話～ラテンからポピュラー音楽まで ⑤文学講座「宮沢賢治童話と詩のふるさと イーハトーヴの世界を歩く」 ⑥城郭史「関東の名城を歩く(南関東編)」 ⑦西洋美術史「西洋中世・初期ルネサンス入門」 ⑧西洋歴史講座「ヨーロッパ歴史散歩」 ⑨万葉集 東歌の世界 ⑩多摩のむかし道と伝説の旅 ⑪音楽あれこれ話～ラテンからポピュラーまで ⑫戦国時代の群雄と織田信長			ひの市民大学は、「子どもから高齢者まですべての市民をもって構成する」と規定されているが、一部の人気講師に受講生が集中してしまい、同じ講師に複数回の講座を依頼してしまっている。それぞれの講座は、一般的な教養を得る場としては有効なものだが、今後、市民大学全体を検証し、学部や講座のあり方を含めて、見直すことも必要である。		
内容	①宣教師ザビエルとフロイスが見た日本と大航海時代のヨーロッパ ②初期キリスト美術、ビザンティン美術、中世ロマネスク美術 ③南フランスのリヨン、アヴィニオン、アルル、ヴェネツィア、ヴェルサイユ宮殿について ④音楽のはじまり、世界で一番レコードを売った歌手、グループ、ラテン音楽 ⑤岩手山麓を歩く、盛岡を歩く、早池峰を歩く、花巻を歩く、なめとこ山を歩く、宮沢賢治資料館 ⑥多摩の名城を歩く、東京23区の名城を歩く、埼玉の名城を歩く、神奈川・千葉の名城を歩く ⑦ゴシック美術、初期ルネサンス美術 ⑧ウィーン・シェーンブルン宮殿、パリ・凱旋門、パリ・コンコルド広場 ⑨東歌の成立、武蔵国の歌、相模国の歌、防人の歌 ⑩玉川上水の歴史と伝説を巡る旅、日光脇往還と千人同心始末記、お鷹の道からはけの道へ歴史・伝説・文学を巡る道 ⑪タンゴ、シャンソン、ハワイアン の歴史と風景 ⑫信長が一目おいた武将達、天下布武とそれを支えた有能な家臣達、織田信長から学ぶもの					
会場	①ひの煉瓦ホール(小ホール) ②(一部)⑦⑧(一部)⑨ 市民の森ふれあいホール ②(一部)③④⑤⑥⑧(一部)⑩⑪⑫ 中央公民館			これからの課題		
期日	①4/21(金) ②5/9 5/16 5/23 5/30(水) ③6/1 6/8 6/15(金) ④6/20 6/27 7/4 7/11(水) ⑤7/13 7/20 7/27(金) ⑥9/7 9/14 9/21 9/28(金) ⑦10/3 10/10 10/17 10/24(水) ⑧11/2 11/9 11/16(金) ⑨1/12 1/19 1/26 2/1(金) ⑩2/7 2/14 2/21(火) ⑪2/27 3/6 3/13(水) ⑫3/15 3/22 3.29(金)					
講師	①③⑧山倉 一穂 (元NHK学園講師) ②⑦齋藤 陽一(元NHK制作プロデューサー) ④⑪蓑茂 栄利(元音楽出版社代表取締役) ⑤渡部 芳紀(中央大学名誉教授) ⑥峰岸 純夫(東京都立大学名誉教授) ⑨池田 三枝子(実践女子大学教授) ⑩原田 莞爾(TAMA市民塾講師) ⑫高野 吉司(歴史研究家)			これまで開講してきた講座(学部)について市民企画・運営委員とともに検証し、ひの市民大学のあり方、学部や講座の構成についての再構築・再編成を行う必要がある。同大学は「市民の生きがいと健康を増進し、豊かな地域づくりに貢献することを目的」(設置要綱)としている。その目的に沿った市民大学の全体像を企画・運営委員に提示しながら、新たな市民大学としていきたい。		
講師謝礼	①10,000 ②60,000 ③30,000 ④0 ⑤60,000 ⑥80,000 ⑦60,000 ⑧30,000 ⑨80,000 ⑩36,000 ⑪0 ⑫30,000			ねらい・目的	対象	実施時間
募集人数	—			市民による企画運営委員会形式で、市民の視点によるカリキュラムを構築し、『「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる』を合言葉に市民の教養の向上を目的とする	一般市民(高齢・成人・青年)	平日午後2時～4時
参加者延べ人数	①148 ②442 ③363 ④283 ⑤327 ⑥488 ⑦448 ⑧294 ⑨397 ⑩168 ⑪161 ⑫267 計3,786					

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(2)誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。

講座・事業数	9	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	5,299,000
--------	---	-------------------	-----------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	国際理解講座「知られざるインドの魅力(協力 日野国際友好クラブ)」		
内容	日本とインドとの国交60周年となる2012年に日本文化とインド文化の違い、インドの興味深い話をしてもらい、相互の理解を深めた。 ◆インドについて ◆紅茶の楽しみ方	多くの貧困層と僅かな富裕層が共存し、カースト制度による差別があるにも関わらず、彼等(貧困層)は必ずしも不幸だと感じて生活しておらず、持てる者が持たざる者に与えることを当たり前とする文化への驚きなど、異文化理解ができた。	国際理解講座は、日本を取り巻く国際情勢としてとらえ、新聞やテレビニュースに対しては常にアンテナを張り、いま何に関心が高いのかを敏感に感じ取り、それをテーマと講座づくりが大切である。長期的テーマをもった講座づくりをしていきたい。
会場	中央公民館		
期日	6/10	ねらい・目的	対象
講師	シャンティスリ・ゴスワミ(インド政府元紅茶局広報官)	外国人の方に母国の魅力について語っていただくとともに、日本文化と母国の文化の違いや日本人にあまり知られていない母国の興味深いお話をしてもらい、参加者の国際理解を深めることを目的とした。	一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼	7,000		実施時間
募集人数	40		日曜日、午後2時～午後4時
参加者延べ人数	47		

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	国際友好講座「韓国家庭料理を作ろう！」		
内容	韓国人の講師を迎えて韓国の家庭料理作りを通して食文化に触れ、一緒に会食しながら相互理解と懇親を図った。	講師は在日年数が長く、日本語が堪能なので、会食をしながら、韓国の食文化、生活についての質問等も多数あり、交流が深められた。	日本人と外国人の方が交流できる講座を料理以外の分野でも検討していく必要がある。また、日本文化、習慣やルールを外国人受講者に理解してもらえるように学びを構築するかが課題となる。
会場	中央公民館		
期日	11/17	ねらい・目的	対象
講師	姜 銀美(かん うんみ)(日野国際友好クラブ)	国際友好とは何かを考え、お互いに対する理解を深めることや外国人参加者が地域社会に共に暮らすための知識や知恵を学ぶ契機を提供することを目的とする。	一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼	5,000		実施時間
募集人数	16		土曜日、午前10時～午後0時30分
参加者延べ人数	9		

3	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	国際理解講座「インドネシア」		
内容	日本の介護福祉士試験を受けるインドネシア方を支援するインドネシアの方を講師にインドネシアの文化や日本で学ぶことの苦労談や日本との関係、について語ってもらった。	国の歴史的背景や現代的課題を色々な例を引き合いに出して説明され、よく理解できた。これにより、日本とインドネシアのこれからの関係性を考える上で基礎知識が学習できた。特に、介護の仕事をやりに来日したインドネシア人への日本語支援や日本の大学で学ぶ留学生たちの生々しい意見や感想に、大いに感心していた。	様々な質問に対して全てに回答する時間がない場合、講師からの後日の回答を参加者に伝える方法が課題である。
会場	中央公民館		
期日	2/3 2/10	ねらい・目的	対象
講師	・アエブ・サエフル・バツフリ ・アンジリニ・ファティア・アマシャ ・アリフ・ユダント ・バツティアル・ユスフ	日本人にとって東南アジアは観光地としては良く知る、近い国々であるが、その素顔は案外知られていません。そこで今回アジアを学ぶその第一弾としてインドネシアを取り挙げ、アジアにおけるインドネシアの状況や諸問題を学ぶことによって広くアジアのこれからを学んでいくことを目的とした。	一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼	51,000		実施時間
募集人数	40		日曜日、午後2時～午後4時
参加者延べ人数	83		

4	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	ママのための“これだけは押さえない”お金と仕事の基本		
内容	育児中の女性が将来に向けて着実に準備を進めるために必要な「お金と仕事」に対する“これだけは押さえておきたい”基本の知識と姿勢(考え方)を学ぶ。セーフティネットコールセンター共催	母子家庭の母親を主な対象とした講座。限られた対象をねらった講座だったが、少ないながら熱心な講座となった。	より多くの方が参加できるような内容の吟味と、PR面での工夫が必要。
会場	市役所504会議室		
期日	10/27 11/17	ねらい・目的	対象
講師	秋田文子・石岡 薫 (母子家庭の母の就労支援事業就労支援員)	育児中の女性が、将来に向けて、着実に準備を進めるために必要な「お金と仕事」に対する基本知識と姿勢を学ぶことを目的とした。	主に子育て中の母親
講師謝礼	32,000		実施時間
募集人数	50		土曜日、午前10時から正午
参加者延べ人数	33		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(2)誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。

講座・事業数	9	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	5,299,000
5	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	話し上手は聴き上手		
内容	相手の話を理解し、その人の本当に言いたいことを聴くということは、なかなか難しい。聴く側の、積極的な相手を解ろうとする働きかけを、体験的に学ぶ。	相手の話を聴くということは、誰でも日常的にやっていて、簡単なようであるが、講習で実際にやってみるとなかなか思うように行かないようだったが皆さん楽しそうにやっていた。	参加者が予想より少なかった。実施時期を配慮したい。タイトルを見ただけで内容が解る工夫が必要。
会場	中央公民館		
期日	2/19 3/26 3/5 3/12 3/19(すべて夜間)	ねらい・目的	対象
講師	高瀬 義幸 (NPOカウンセリング教育サポートセンター理事)	聴く方の積極的な相手を解ろうとする働きかけを体験的に学ぶことを目的とする。	成人(成人、青年)
講師謝礼	60,000		実施時間
募集人数	30		火曜日、午後6時30分～
参加者延べ人数	71		午後8時30分

7	障害者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	障害者青年・成人学級(委託)		
内容	障害の有無にかかわらず「ともに生き、ともに学ぶ」ことを目的に活動する ・概ね月1回の定例会 ・年1回の合宿	毎月の定例会を皆で楽しみながら企画運営し、「ともに生き、ともに学ぶ」のテーマに沿った活動ができた。	長年活動してきた運営スタッフが疲れてきていることが見受けられる。新しい運営スタッフのをどのように増やしていくかが課題。
会場	中央公民館ほか		
期日	5月～3月の間に青年定例会11回、成人定例会11回、分科会48回	ねらい・目的	対象
講師	-	様々な障害を持つ青年と一般青年とが「ともに生き、ともに学ぶ」仲間として、生活に即した学びを通じて相互の理解を深め交流することを目的とする。成人学級も同様の目的である。	16歳以上の青年・成人
委託料	2,976,000		実施時間
募集人数	-		実施日により異なる
参加者延べ人数	1125		

9	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	外国人のための日本語教室(委託)		
内容	市内在住在勤在学の外国人・帰国者を対象に日本語を教え、日常生活に必要なことも伝えている。	ボランティア講師が多くの外国人に日本社会での暮らし方も含めて日本語を献身的に指導をしている。定例行事のイヤーエンド・パーティーなどで各国の文化を披露し合っている。課外事業の社会見学やバーベキューなどで交流が深められた。	長年の経緯から委託先の国際友好クラブが主導的傾向になることがある。中央公民館としての考え方や方向性も話しながら、協力を進めていきたい。
会場	中央公民館ほか		
期日	4月～3月 119回	ねらい・目的	対象
講師			市内在勤、在住の外国人
委託料	433,000	日野市の外国人・帰国者を対象に日常生活に必要な日本語を指導する。	実施時間
募集人数			水曜日、午前10時～正午水・金曜日、午後7時～9時
参加者延べ人数	2,314		

6	青少年事業	担当者評価	これからの課題
事業名	子どもお楽しみ料理教室～みんなで料理に挑戦		
内容	子ども達と高齢者の交流を図りながら料理をつくる	子どもたちは料理を通じて公民館サークル「男の料理塾」の高齢者の方々と交流ができた。料理を作る楽しさ、食の大切さも学ぶことができた。	近隣市でアレルギー事故があったため、対応には万全の措置を取った。食物アレルギー者を講座にどこまで参加させていくが課題となる。
会場	高幡台分室		
期日	2/23 3/2 3/9 3/16 3/23	ねらい・目的	対象
講師	岡積 昌子(栄養士)	子どもたちが料理を作ることを通じて食育について学び、高齢者との世代間の交流を行うことを目的とする。	小学生、中学生
講師謝礼	25,000		実施時間
募集人数	20		土曜日、午前10時～午後1時
参加者延べ人数	111		

8	障害者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	障害児少年学級(委託)		
内容	市内在住の障害のある小・中学生が地域の中で交流を深めながら心身の健全な発達を目的に活動する ・概ね月1回の定例会・年7回のリトミック教室・年1回の合宿	年間を通しての事業については、概ね、例年同様に事業展開が出来たが、夏合宿には同行出来なかったが親の会の主導で充分なものとなった。また、リトミック教室も年8回から7回に縮小し内容の充実を図った。	障害の差によって行事への参加を見送らないよう配慮して行くことが必要。またより多くの児童・生徒がこの学級に参加できるように講座運営や啓発を行っていきたい。
会場	公民館高幡台分室ほか		
期日	毎月第二日曜日及び第二土曜日	ねらい・目的	対象
講師	-	障害があるために、校外生活での遊びや生活活動を通して得られる教育的刺激を受けにくい障害児に対し、大学生ボランティアや保護者の協力を受けながら、諸活動を通しての相互教育の機会の提供を行うことを目的とする。	市内在住の障害のある小・中学生
委託料	1,710,000		実施時間
募集人数			毎月第二日曜日の午前・午後第二土曜日の午前(リトミック)
参加者延べ人数	1,249		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(3)心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	9	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	465,700
--------	---	-------------------	---------

1	青少年事業	担当者評価	これからの課題		
事業名	夏休み集まれ！小学生わくわく学習術	3日間、5コマの講座だった。それぞれ、子どもたちは楽しんでいた。3日め午前中の国立極地研究所(立川)への遠足では、真夏の炎天下の外出に苦労した。	子どもを対象とした事業は、子育て課や郷土資料館等の事業や学校プール、補習授業に留意して実施時期等を検討する必要がある。		
内容	一日め＝そうめん流し、ハンドロウル 二日め＝手作り楽器 三日め＝極地研究所、起震車体験				
会場	一日め＝仲田公園、市民の森ふれあいホール 二日め＝中央公民館 三日め＝国立極地研究所(立川)、中央公民館				
期日	7/24 7/25 7/26			ねらい・目的	対象
講師	一日め＝松本保(お休み)、川口武文、伊野直美(ハンドロウル) 二日め＝公民館職員 三日め＝櫻庭俊昭(国立極地研究所)、竹村克也(日野消防署)			市内在住の小学生を対象に、普段の学校の授業とは異なった視点・方法で地域や学年を越えて楽しみながら学びあい、小学生の学習への関心が高めることを目的に実施した。	小学校3年～小学校6年
講師謝礼	0			実施時間	
募集人数	20	夏期休業日、一日目 平日午前9時30分～二日目、三日目 午前10時～			
参加者延べ人数	66				

2	高齢者事業	担当者評価	これからの課題		
事業名	ひのさんぽ	日野の各所をいろいろなテーマで訪問した。実踏が不十分なところがあったので実踏を詳細に行なって内容の充実した事業としたい。	様々な日野の名所・旧跡を散歩してきたが一定の範囲を廻ってしまったため、視点や切り口を変えた事業としていきたい。		
内容	ほどくぼ小僧勝五郎生まれ変わり、新選組、ひの七福神めぐり、百草園の講義と現地の散策。				
会場	市内各所				
期日	9/27 10/25 11/22 12/20 1/10 3/14			ねらい・目的	対象
講師	芹川孝一(郷土史家)ほか			引き籠りがちな高齢者に対して、外出したくなるような散歩コースを設定し、月ごとに設定したテーマに沿って市内を散策することで地域を学び、健康増進や参加者同士の交流を図ることを目的とする。	高齢者
講師謝礼	30,000			実施時間	
募集人数	各回20人	木曜日、午前10時～午後1時30分			
参加者延べ人数	53				

3	成人事業	担当者評価	これからの課題		
事業名	農業理解講座「日野産のブルーベリーでパンをつくろう」	昨年の反省に基づき、暑いので摘み取り時間を30分早めたり、パン作りも手際よくできた予定時間内に終わることができた。子供同士が積極的に参加し、試食も楽しく食べて食育講座としても良かった。	夏休み中に事業を行ったので親子での参加者を期待したが思ったより少なかった。PR方法を検討したい。また対象も改めて考えていきたい。		
内容	地場産農産物のブルーベリーを自ら摘み取り、それを利用してパンを作る。				
会場	中央公民館				
期日	7/28			ねらい・目的	対象
講師	滝瀬 滋子(ホームメイド協会講師会員)			親子	
講師謝礼	12,000			実施時間	
募集人数	20	土曜日、午前10時00分～午後1時30分			
参加者延べ人数	20				

4	成人事業	担当者評価	これからの課題		
事業名	初心者のための「ココロとカラダ すっきりヨガ講座」	講師は大変熱心で丁寧に教えてくれた。説明がやや多く、実技が少なかったが、和やかな雰囲気の中での講座が実施でき、目標は概ね達成できた。	市内各地域からの受講希望者が多く、お断りした方も多数いたが、全回出席者は少なかった。受講者が多い場合には、先着順ではなく原則全回出席できる方を優先して受講していただく等、考慮していきたい。		
内容	日常生活に取り入れられる正しいヨガの知識とトレーニング方法を学んだ。 ※ 自主サークルになった。				
会場	市民の森ふれあいホール				
期日	9/1 9/15 9/29 10/13 10/27			ねらい・目的	対象
講師	川村 洵(ヨガインストラクター)			心身ともに健やかな人生を送るため、正しいヨガの知識とトレーニング方法を学び、日常に取り入れる。仲間づくりのきっかけとする。	成人一般
講師謝礼	50,000			実施時間	
募集人数	20	土曜日、午後2時～3時30分			
参加者延べ人数	101				

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(3)心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	9	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	465,700
--------	---	-------------------	---------

5	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	高齢者のかんたんなお菓子づくり講座	お菓子づくりや健康などについての話題で交流が行えた	人数が定員に達しなかったため交流はできたが、自主サークル化には至っていない。
内容	スイートポテト、マドレーヌづくりなどかんたんなお菓子づくりをして、自分たちでつくったものをたべながら歓談し、参加者同士が交流した。		
会場	高幡台分室		
期日	12/5 1/9 2/13 3/13		
講師	千葉 裕子(市民講師)		
講師謝礼	12,000	引きこもりがちな高齢者にかんたんなお菓子作り通じて、いきがいをもちながら生活するための学びを提供し、参加者同士の仲間づくりをすることを目的とする。	高齢者
募集人数	16		実施時間
参加者延べ人数	32		水曜日、午後1時30分～3時30分

6	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	ちょっとサポート若者の暮らし～簡単・時短クッキング	毎回班編成を変えて、様々な人が一緒に学び合う機会を設けたが、協力し合い楽しそうに行うことができた。	参加者アンケートから満足度の高さは読み取れたが、誘われて参加した方が多かった。青年層を対象とするとき、PR等の方法や実施時期について今まで以上に考慮していきたい。
内容	若者を対象に簡単な料理を学ぶ講座を実施して、様々な人と一緒に学び合いながら自分の暮らしについて考える機会を提供する。		
会場	中央公民館		
期日	2/28 3/7 3/14 3/21		
講師	鈴木 直美(料理研究家)		
講師謝礼	60,000	簡単な料理を学ぶ機会を通じて様々な人と一緒に学び合い、自分の暮らしについて考える機会を提供する。	青年(30代まで)
募集人数	16		実施時間
参加者延べ人数	66		木曜日、午後7時～9時

7	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	定年後の長～い自由時間をどう生きる？ 自遊？ 自悠 自友？ エッ?! 自憂??	1回めの「基調講演」の打ち合わせ不足から、内容を十分に絞りきれない講座となってしまった。	この種の講座は、しっかりとした方向性を持つことが必要。講座の目的・趣旨についての打ち合わせをしっかりと重要性を痛感。講座内容は高齢化社会においては学びの必要性が高いので工夫しながら今後も実施して行きたい。
内容	定年後、地域に戻ってからの長～いセカンドライフをどのように過ごすのか、を考える場として実施する。 ①講演「自由時間都市で生き生きと過ごす」 ②自遊な・・・自悠・・・私の時間 I 趣味を楽しみながら生涯学習の日々 ii キャンピングカーで悠々セカンドライフ ③市内にはこんな団体も		
会場	市民の森ふれあいホール		
期日	3/10 3/17 3/24		
講師	①小栗 幸夫(千葉商科大学教授) ②-i 鈴木 辰博(東京都多摩地区生涯学習インストラクターの会) ②-ii 藤正 巖(政策研究大学院大学名誉教授) ③ひの市民活動団体連絡会、公民館利用者交流会「るーぶ」、日野市ボランティアセンター、日野市シルバー人材センター		
講師謝礼	76,000	主に定年が近い男性	
募集人数	60		実施時間
参加者延べ人数	58		日曜日、午後2時～午後4時

8	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	ひのっ子シェフコンテスト	JA東京みなみ、市健康課、学校栄養士会との連携による6回の実施。小学生が考案した応募メニューが市内小学校5校の給食に採用された。子どもたちの「食」に対する意識も高まってきている。	6回が終了したところだが、従来形式で実施するのか、趣向を変えた新たな形式で実施していくのか、検討が必要。
内容	小学生による料理コンテスト		
会場	生活・保健センター		
期日	1/20		
講師			
委託料	120,000	子どもが食べることや食材の大切さを感じることで、食への関心を高め心身共に健康な子どもを育てることを目的とする。また、これに伴い多くの市民にも食の大切さを伝える。	市内の小学校に通う小学4年生から6年生
募集人数	—		実施時間
参加者延べ人数	69		日曜日、午後1時～4時

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(3)心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。

講座・事業数	9	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	465,700
--------	---	-------------------	---------

9	公民館映画会	担当者評価	これからの課題
事業名	がん啓発映画「エンディングノート」	ガン啓発イベントへに急遽参加することになった。事前のPRがもっとしっかりしていれば、より多くの方に見ていただけたと思う。	事前PRの重要性を痛感した。途中、DVD再生機材にトラブルがあった。交換機材を用意しておいてよかった。また、ワイド画面のソフトとDVD機材・プロジェクタの設定を事前チェックが重要。
内容	11月24・25日に日野市社会福祉協議会が行うイベントに参加。		
会場	仲田小学校体育館		
期日	11/24 11/25	ねらい・目的	対象
講師		「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2012in日野」実行委員会(事務局・日野市社会福祉協議会)、が開催するがん啓発イベント内で、映画を上映することで、がんに対する学びや関心を高めることを目的とする。	広範な市民
フィルム借上げ料	105,700		実施時間
募集人数			土曜日、午後6時～ 日曜日、午前10時～
参加者延べ人数	40		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(4)自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。

講座・事業数	5	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	324,000
--------	---	-------------------	---------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	農業体験講座 サツマイモを育てよう	親子でのサツマイモ作りとして講座を開催した。参加者全員が土に触れ、作物のできる過程を親子で体験でき、収穫の喜びを味わえた。	講座当日の天候や作物の生育不良などを予測できるような選択や講座日程を短くするなどの工夫が必要。作業量にも配慮する必要がある。
内容	親子でサツマイモの植え付けから育成、収穫体験を行った。参加者が協力して作業を行い、収穫の喜びをお互いに分かち合った。		
会場	南平耕作地		
期日	6/24 7/14 8/11 9/8 (10/27)⇒11/10	ねらい・目的	対象
講師	八子 廣氏(新生エコライフクラブ代表)	親子で土に触れ、土を楽しみ、食物を育てることで、自然と人間との共生、人間相互の共生を図ることを目的とする。	親子
講師謝礼	30,000		実施時間
募集人数	親子30組		主に土曜日、午前9時～午前11時
参加者延べ人数	107		

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	農業体験講座 大豆を育てて自家製豆腐作り	親子での大豆作りとして講座を開催した。参加者全員が土に触れ、作物のできる過程や豆腐作りを親子で体験できた。	講座当日の天候や生育不良に配慮できる講座づくりが必要。他課の行事も含めて同時期に何を行うかに配慮が必要である。募集記事の広報に掲載時期にも配慮が必要。
内容	大豆作りを通じて、親子で土に触れ、土を楽しみ、食物を育てた。また、豆腐作りを通じて食育の体験を行った。参加者が協力して作業を行い収穫の喜びをお互いに分かち合った。		
会場	南平耕作地		
期日	7/14 8/18 9/22 10/13⇒11/17 11/24⇒12/1 1/26	ねらい・目的	対象
講師	八子 廣氏(新生エコライフクラブ代表)	親子で土に触れ、土を楽しみ、食物を育てることで、自然と人間との共生、人間相互の共生を図ることを目的とする。食育や地産地消について考えるきっかけとした。	親子
講師謝礼	40,000		実施時間
募集人数	親子30組		主に土曜日、午前9時30分～午前11時、豆腐作り=午後1時～3
参加者延べ人数	54		

3	公民館映画会	担当者評価	これからの課題
事業名	「檻樓(らんる)の旗」	実際のことは、あまりよく知られていない日本における公害訴訟(足尾銅山の環境破壊と田中正造の生き様)の草分け的事件が映像によって分かり易く理解出来た。	自然と人間との共生をテーマにする場合、PRに工夫が必要。
内容	午前・午後 2回上映		
会場	福祉支援センター		
期日	5/12	ねらい・目的	対象
講師			一般市民(高齢・成人)
フィルム借上げ料	0		実施時間
募集人数	各回60	足尾鉍毒事件の田中正造代議士の半生を映画を通じて自然と人間の共生について再考するきっかけとした。	土曜日、 ①午前:10時～ ②午後1時30分～ の2回上映
参加者延べ人数	34		

4	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	田んぼの学校	子どもから高齢者まで3世代にわたっての共同作業であり、農作業だけでなく高齢者からいろいろな事を学んでいるように見受けられる。農業への理解、自然環境の大切さを学んだ。	生物環境や理科的な学び、旧来の農具の学びに配慮していきたい。また、講師(農家)の高齢化によりトラクターや脱穀機等を扱える人の手配が難しくなっている。
内容	田んぼで稲の育成を行い、収穫の喜びを参加者全員で共有し、農業理解の一環とした。		
会場	新町、南平		
期日	年間開催	ねらい・目的	対象
講師			市民
委託料	254,000		実施時間
募集人数		農業体験を通じてフードマイレージや環境問題、自然との共生について学ぶとともに、農業に対する興味や理解を深めてもらうことを目的とする。	主に土曜日、9時～12時
参加者延べ人数	781		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(4)自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開する。

講座・事業数	5	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	324,000
5	公民館映画会	担当者評価	これからの課題
事業名	「第五福竜丸」	核実験が行われたことにより時期を得た放映であった。皆さんの関心も高く、サロントークで様々なことが話題となった。	テーマに即したパネラー等を入れたサロントークにすること等を検討したい。話しやすい雰囲気づくり
内容	午前・午後 2回上映		
会場	福祉支援センター		
期日	2月16日	ねらい・目的	対象
講師		過去の事件から昨今の状況を考え、あらためて原子力による放射能被曝について見つめ直す。	一般市民 (高齢・成人・青年)
フィルム借上げ料	0		実施時間
募集人数	各回60		土曜日、 午前:10時～ 午後1時30分～ の2回上映
参加者延べ人数	39		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(5)安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。

講座・事業数	3	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	192,000
--------	---	-------------------	---------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	犯罪被害者支援講座「あなたの思いやりが築くコミュニティ～いのちの大切さを学ぶ～」	犯罪被害に遭遇された方々は、命を奪われたり身体を傷つけられる等の直接的な被害のみならず、捜査や裁判の過程においても精神的負担を受けたり、周囲の人々の噂や中傷など二次的被害にも苦しめられていることが良く理解できたが、地域に住む私たちに出来ることは何かを考えると、現実的には非常に難しかった。	犯罪被害者支援に係るテーマは大変重く、多くの市民は悲惨な話を聞くことに対しては否定的である。しかし、今後はこのテーマをどのようにして講座とするかを検討したい。
内容	①岩崎悦子の講演 ②映画「0(ゼロ)からの風」の鑑賞 鈴木共子の講演		
会場	中央公民館		
期日	11/2 11/9	ねらい・目的	対象
講師	①岩崎悦子(被害者支援を創る会) ②鈴木共子(いのちのミュージアム代表理事)	犯罪被害者等のおかれている現状・心情を自分に置き換えて、地域に住む私たちにできることは何かを一緒に考えてみることを目的とする。	一般市民(高齢・成人)
講師謝礼	30,000		実施時間
募集人数	40		金曜日、午後1時30分～
参加者延べ人数	14		

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	親子そ知って欲しい 子どもへのアニメの影響～メディアから暴力とジェンダーを考える	平日午後という時間設定のためか、非常に受講者が少なくなりました。内容は、「メディアリテラシー」の基礎からはじまり、実際の映像を分析・グループ討論という、とてもよいものだった。	母親を対象とする事業については、日程の設定について慎重な考慮が必要。内容面でもよりわかりやすい工夫をしたい。
内容	男女平等課との共催事業。「正しければ暴力ってふるってもいい？」をテーマに子どもをとりまくメディアから暴力とジェンダーを考える。		
会場	多摩平の森ふれあい館		
期日	2/28 3/7 3/14	ねらい・目的	対象
講師	【NPO法人FCTメディアリテラシー研究所】 田島 知之 登丸 あすか 佐々木 はるひ	アニメで表現される「男らしさ」「女らしさ」や暴力などについて、正しく見極めることを、幼児から中学生までの子を持つ親に学んでもらうことを目的とする	主に子育て中の親
講師謝礼	72,000		実施時間
募集人数	25		木曜日、午後2時～
参加者延べ人数	15		

3	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	災害から地域を守る～大震災から二年	防災に関して総合的に学ぶ場とした。急遽決定した講座だったため、防災安全課との連携が芳しくなく、残念だった。受講者からも、もっと多くの人に聞いて欲しい内容だった、との声が多かった。	他課との連携が必要な事業は、十分な検討期間を設けることが重要である。特に、防災については、それぞれの視点から各課で講座・講演会が同時期に開催される可能性が高いので、他課との連携と情報共有の必要がある。
内容	①講演「地域コミュニティと大規模災害～防災学の視点から」 ②日野市の自主防災について ③-1 大きな津波被害を受けた宮城県名取市の職員課から話を聞く ③-2 起震車体験 ③-3 防災倉庫、災害時トイレを見学 ③-4 日野市から被災地に派遣された職員から話を聞く ③-5 話し合い		
会場	市民の森ふれあいホール		
期日	2/23 3/2 3/9	ねらい・目的	対象
講師	①佐藤 健(東北大学災害科学国際研究所教授) ②万願荘、日鉱住宅地の自主防災組織 ③佐藤 浩(宮城県名取市防災安全課)、日野消防署、日野市職員(ごみゼロ推進課、健康課)	東日本大震災から二年を経過するにあたり、大きな災害から自らの命や地域を守るための心構えを学ぶためことを目的とした。	広範な市民。主に自治会や自主防災組織の皆さん
講師謝礼	90,000		実施時間
募集人数	60		土曜日、一日目・二日目 午前10時から 三日目 午前9時30分から
参加者延べ人数	102		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(6)日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。

講座・事業数	2	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	65,000
--------	---	-------------------	--------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	七生村の歴史を学ぶ～明治時代から日野町合併まで	講演・散策ともに講師の説明に熱心に聞き入り、自分たちの住んでいる地域への関心の深さを改めて実感した。七生村の名前を知らない方も多く、この講座で周知できた。	講座参加者は自分の住んでいる地域の歴史には興味があるが、それ以外の地域については興味が薄れることもある。地域特性を生かした講座づくりを心掛けたい。様々な視点で講座を企画し、講座数にも配慮していきたい。
内容	明治時代から日野町合併までの七生村地域の歴史を学び、地域を散策し遺跡を訪ね、今自分たちが住んでいる地域の伝統と文化の理解を深める講座を行った。		
会場	高幡台分室および散策		
期日	4/3 4/10 4/17(散策)	ねらい・目的	対象
講師	上野さだ子(日野の古文書を読む会会長) 加地 勝(多摩石仏の会会員) 大窪 俊彦(多摩石仏の会会員)	郷土資料館と連携し、ふる里日野を掘り起こし、日野市をふる里として育む「まちづくり」、「自分たちの住んでいるまちに愛着が持てるような「まちづくり」を目指す。	一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼 募集人数	30,000 20		実施時間
参加者延べ人数	67		火曜日、講演=午後1時30分～午後3時30分 散策=午前9時30分～午前11時30分

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	南北朝時代 日野地域の武将 -高麗助綱と山内経之-	講演・散策ともに講師の説明に熱心に聞き入り、自分たちの住んでいる地域への関心の深さを改めて実感した。この地域で活躍した人物の名前を知らない方も多く、この講座で周知できた。	講座参加者は自分の住んでいる地域の歴史には興味があるが、それ以外の地域については興味が薄れることもある。地域特性を生かした講座づくりを心掛けたい。
内容	「高麗助綱(こますけつな)と山内経之(やまのうちつねゆき)～南北朝時代に活躍した日野の武将たち」講演2回と散策1回。高幡山金剛寺と高麗・山内との関係などを学ぶ。郷土資料館との連携事業		
会場	高幡台分室、市内		
期日	12/4 12/11 12/18	ねらい・目的	対象
講師	峰岸純夫(東京都立大学名誉教授) 芹川孝一(郷土史家) 川澄祐勝(高幡不動尊金剛寺貫主)	地域の歴史上の人物やその沿革を学び、史跡等を散策することによってふる里日野を意識する気持ちを醸成することを目的とする。	一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼 募集人数	35,000 20		実施時間
参加者延べ人数	66		火曜日、午前9時30分～11時30分

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

## 平成24年度中央公民館基本施策(7)市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する

講座・事業数	10	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	1,035,375
--------	----	-------------------	-----------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	新しい形のバイオリンアンサンブルを楽しんでいた。また、ふだん触れられないバイオリンの体験もで、お客さんはとても喜んでくれた。	会場(ステージ)の特性を活用した演出。
内容	春のヴァイオリンの調べ		
会場	平山季重ふれあい館		
期日	4/21	ねらい・目的	対象
出演	ヴァイオリンアンサンブルユニット fraly*	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	25,000		実施時間
募集人数	70		土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	64		

3	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	途中、数名のお客さんに指導をしながら、体験アンサンブルができた。喜んでた。	さらにいろいろなステージを気軽に見られるようにすることの重要性を感じた。
内容	天使の歌声 ハンドベルの調べ		
会場	中央公民館		
期日	9/15	ねらい・目的	対象
出演	ハンドベルアンサンブル「クリスタル」	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	15,000		実施時間
募集人数	70		土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	40		

5	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	新年最初のバラエティサロンということで、箏の演奏とした。ヴィオラとのアンサンブルという意外性もあり、お客さんも楽しんでた。	市内および近隣にいるさまざまなジャンルのアーティストを探すため、たかいアンテナが重要である。
内容	箏とヴィオラ		
会場	平山季重ふれあい館		
期日	1/19	ねらい・目的	対象
出演	横山裕子、印田正人	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	28,000		実施時間
募集人数	70		土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	85		

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	ウクレレとオカリナの即製ユニットだったが、それぞれの出演者の人柄から、アットホームなステージとなった。	セミプロの出演者を組み合わせる際に、しっかりと打ち合わせ・練習が必要。
内容	ギターとオカリナの調べ		
会場	中央公民館		
期日	6/16	ねらい・目的	対象
出演	北代岳大、いがらしたかの	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	17,000		実施時間
募集人数	70		土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	53		

4	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	フラメンコの合間のトークでも盛り上がり、和気あいあいとした雰囲気の中で、地域の方に質の高いフラメンコを楽しんでいただくことができた。	司会者と出演者の間で、当日進行の打合せが充分ではなかったため、当日の進行についての事前打合せの必要を感じた。
内容	哀愁と情熱のフラメンコ		
会場	中央公民館		
期日	11/17	ねらい・目的	対象
出演	Seis pecesillos	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	50,000		実施時間
募集人数	70		土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	75		

6	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	バラエティサロン	ふだん、目にすることがあまりないプロの朗読の世界をお客さんは楽しんでた。	会場の都合から、多くの人の申込みを断ることになってしまった。電話での先着申込みではなく、往復はがきによる抽選をするべきだった。今後、検討が必要。
内容	平野啓子 平家物語を語る		
会場	市民の森ふれあいホール		
期日	2/22	ねらい・目的	対象
出演	平野啓子	地域の中で気軽に「質の高い文化」に親しめる場として、普段身近にふれる機会の少ない音楽や演劇などを、気軽に味わってもらうことを目的とする。	広範な市民
出演料	65,000		実施時間
募集人数	100		金曜日、午後2時～
参加者延べ人数	106		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

## 平成24年度中央公民館基本施策(7)市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する

講座・事業数	10	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	1,035,375
--------	----	-------------------	-----------

7	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	クラシック講座～ロシアの作曲家		
内容	ストラヴィンスキー生誕130年を記念し、ロシアの代表的な作曲家を取り上げる。ロシアの作曲家を3つの時代に区分し、その時代の作曲家の楽曲を聴きながら、作品の構成や時代背景を学ぶ。	曲の成り立ちや時代背景等、エピソードを織り交ぜながらの講義は、クラシック初心者から上級者まで十分に満足いく内容だった。	受講者は、講座内容には満足しているが、新たな次へのステップがない。
会場	中央公民館		
期日	9/20 10/18 11/15	ねらい・目的	対象
講師	渡邊 學而(音楽評論家)		一般市民(高齢・成人・青年・少年)
謝礼	60,000	クラシック作品・作曲家について深く知り、クラシック音楽を身近に感じ、芸術文化を楽しんでいただくことを目的とする。	実施時間
募集人数	60		木曜日、午後2時～3時30分
参加者延べ人数	118..		

9	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	第16回ひの아트フェスティバル		
内容	仲田の森を舞台に、市民の手作りの祭り。様々なバンド演奏や、地域で活躍するアーティストの作品紹介など、気軽に芸術に親しめる祭りとなった。	回を重ねるにつれ、「閉じたイベント」となってしまいう傾向にあり、新たな広がりが見られない。会場となった仲田公園の環境の大きな変化に実行委員会が当初戸惑い、スタートが遅れてしまった。	限られた時間・会場の条件をどのように有効に使い、公民館が実施しているアートフェスティバルの意味を考える必要がある。
会場	仲田公園		
期日	8/19 8/20	ねらい・目的	対象
講師			一般
会場設営委託料	610,000		実施時間
募集人数			
来場者数	約7,200	「地域に根差した自前の文化を自らの手で育てたい」という趣旨で始まった市民の手づくりによるイベント。日野市および周辺で活動をしているアーティストが、ステージや展示部門で発表を行い、日野市から発信する芸術文化のお祭りとして実行委員会形式で実施する。	土、日曜日、午前10時～午後8時

8	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	第25回公民館まつり		
内容	公民館利用サークルの日ごろの活動成果の発表の場	実行委員会(役員会)との役割分担、公民館職員の立場など、その都度相談をしながら進めてきた。参加サークルの減少から、来場者が減ってしまった。	より多くのサークルの参加。公民館まつりの意味と意義を再確認し、まつりへの参加をサークルに引き続き呼びかけていく。
会場	中央公民館 中央福祉センター		
期日	5/19 5/20	ねらい・目的	対象
講師			公民館利用サークル、広範な市民
会場設営委託料	165,375	公民館利用サークルの日ごろの活動成果の発表の場	実施時間
募集人数			土、日曜日、午前10時～午後4時
来場者数	約1,800		

10	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	第8回公民館高幡台分室まつり		
内容	公民館利用サークルの日ごろの活動成果の発表の場、各々サークル同士が一体となり企画・運営までを手作りで行い、この中でサークル間の交流を促す場。	昨年比べて来場者が3割程度減少した。このことは青少年事業(ヒップホップダンス講座)の発表会がなかったことに加え、近隣で同日開催されたイベントが多くあった為であった。しかしながら、今年参加された各サークルの発表内容は昨年よりもかなり質の高いものであった。	現在、同一建物内にある郷土資料館との合同開催を目指して調整中である。引き続き、より多くの公民館利用サークルに分室まつりへの参加を積極的に呼びかけると同時に周辺地域へのPRを継続することが当面の課題である。
会場	中央公民館高幡台分室		
期日	10/20	ねらい・目的	対象
講師			一般市民(高齢・成人・青年・少年)
経費	0		実施時間
募集人数			
来場者数	約350	公民館分室まつりは、日頃のサークル活動の成果を展示、舞台(ステージ)、体験コーナー、模擬店などにより発表する場。	土曜日の午前10時～午後3時

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(8)憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。

講座・事業数	6	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	192,500
--------	---	-------------------	---------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	映画会	映画の場面に出てくる裁判の様子などは、今日の裁判員制度を連想させ「人権」とは、「冤罪」とはについて、どのような基準で理解したら良いのかを学習できた。	社会問題をテーマとした映画のため、参加者が少なく、地道なPR活動が必要。
内容	真昼の暗黒		
会場	中央公民館		
期日	7/21	ねらい・目的	対象
講師			一般市民(高齢・成人・青年)
フィルム使用料	0	この映画では「人権」や「冤罪」について考えるきっかけづくりを目的とした。	実施時間
募集人数	午前午後各60		土曜日、 午前:10時～ 午後1時30分 ~ の2回上映
参加者延べ人数	35		

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	映画会	戦争の悲惨さや無益さを痛感でき、あらためて戦争の愚かさや平和の尊さ、ありがたさを認識できた。	上映会場への課題(ハード面) ①天井が低い(撮影中、観客の頭がスクリーンに映ることがある) ②入口を開けると光が差し込んで画面が白くなってしまう。
内容	ガラスのうさぎ		
会場	多摩平の森ふれあい館		
期日	8/4	ねらい・目的	対象
講師		戦争の悲惨さや無益さをテーマにした作品を鑑賞し、あらためて戦争の愚かさや平和の尊さ、有難さを確認することを目的とした。	一般市民 (高齢者・成人・青年・少年)
フィルム使用料	0		実施時間
募集人数	50		土曜日、午前:10時～正午
参加者延べ人数	45		

3	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	8月に何があった ～次の世代に伝える戦争と平和	長年続いている事業なので、マンネリ化は否めないが、それなりの完成度には達している。今回は、幅広い年齢層の参加をめざし、三世代合唱団を加えた。ただ、参加者の多くが、自分の出演部分だけに力を入れ、事業全体の意味を把握していない。平和事業の原点を再確認したい。	参加者に「平和事業の原点」をしっかりと理解してもらうことが重要。単なる出演者ではなく、ともに事業つくっていくことの認識が薄い。単なるステージ発表会にならないよう平和に対する意識を再確認することが重要。
内容	戦争体験の朗読、ハンドベル演奏、合唱等の公演により市民が自ら平和を考え市民に向け、戦争の悲惨さと平和の大切さを発信する機会づくりとして、市民とともにプログラムをつくっていく。		
会場	多摩平の森ふれあい館		
期日	4/21から打ち合わせ・練習等がスタートし、8/3通し稽古、8/4ステージ	ねらい・目的	対象
講師	内藤和美(朗読指導) 茂呂薫子(合唱指導) 蓼沼明子(ピアノ伴奏) 佐野明子(三線演奏)	日野市のスローガンでもある「恒久平和」を考える事業。豊かで安心できる日々がいつまでも続くように、この公演を市民とともに実施し、改めて「平和」とは何かを考え次の世代に伝えていくために行う。	広範な市民
謝礼	99,500		実施時間
募集人数			ステージ当日(8月4日)土曜日、午後2時～
参加者延べ人数	延べ練習 307 8/4観覧者数 78		

4	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	市民のための地方自治	前半の講義では地方自治についての基礎知識を学び、後半では「自治会や地域コミュニティの将来像」や「市民活動の可能性」について学習した。参加者の多くは自治会で活動されており、具体的な質問がたくさんだされ、大いに盛り上がったが、講座修了後のサークル化は実現できなかった。	参加者同士が連絡し合え、学び、相談できる環境作りが必要。
内容	市民の目線で地方自治について知り、何を学び、何を生活や地域行政に活かしたらよいかを学習し、民主主義とは何かを考えてもらうことを目的とし開催する。		
会場	福祉支援センター		
期日	10/4 10/11 10/25 11/1 11/8 11/15	ねらい・目的	対象
講師	小林 大祐(中央大学通信教育部インストラクター)	地方自治について考え方を学び、自分たちの生活や地域行政にこの学びをどのように活かしたらよいかを考えてもらうことを目的とした。	成人
謝礼	90,000		実施時間
募集人数	30		木曜日、午後2時～午後4時
参加者延べ人数	105		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(8)憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。

講座・事業数	6	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	192,500
--------	---	-------------------	---------

5	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	みんなで学ぶ裁判員制度～その概要と課題について	裁判員制度について、わかりやすく説明していただいた。裁判官、弁護士、裁判員経験者などいろいろな角度からの説明により制度を学ぶことができた。	裁判員制度の講座は、集客に問題があるが、必要性は強いいため、何年周期で行うことを検討したい。
内容	裁判員制度についての講義し、課題、裁判所の見学、実際に裁判員を経験した人の話を聞いて制度をより深く理解した。		
会場	福祉支援センター、地裁八王子支部		
期日	11/27 12/4 12/11	ねらい・目的	対象
講師	佐竹真紀(弁護士)、東京地裁立川支部庶務2課職員、田口真義(lay judge community club)、遠藤常二郎(弁護士)	裁判員制度について理解し、憲法下における司法の役割についての知識を深めることを目的とした。	一般市民(高齢・成人・青年)
謝礼	3,000		実施時間
募集人数	20		火曜日、午後2時～4時
参加者延べ人数	16		

6	青少年事業	担当者評価	これからの課題
事業名	子ども平和アニメ映画会	映画会を始める前に平和祈念事業であることを児童のみなさんにも理解できる言葉で説明したので、戦争の恐ろしさや悲惨さなどをある程度感じ取ってもらえた。また、選出したアニメ作品もたいへん分かり易く良くできた映画に仕上がったものばかりであった。	上映作品についてはテーマの他に、集客用として児童に人気の高い、例えば「忍たま乱太郎」シリーズ等をはさむこともテーマの普及拡大につながると考えられる。
内容	AM「おかあちゃんごめんね」「つるにのって」 PM「君知ってる？首都炎上～アニメ東京大空襲」「つるにのって」「忍たま乱太郎の交通安全」 児童館と共催し、より多くの子どもたちに戦争と平和に対する関心を深めてもらう機会とした。		
会場	午前:もぐさだい児童館 午後:しんめい児童館		
期日	8/9	ねらい・目的	対象
講師		歴史を風化させないために戦争とは何か、平和とは何かを考える機会を次世代を担う子どもたちに提供する。	少年(児童)
フィルム使用料	0		実施時間
募集人数			木曜日、午前10時30分～午前11時45分 午後2時～午後3時15分
参加者延べ人数	107		

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(9)地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進するような事業を展開する。

講座・事業数	2	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	90,000
--------	---	-------------------	--------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	思いを伝えるための話し方講座		
内容	発音の基礎から、話し方や本の読み方等で大事なこと、間の取り方、くつきりとした日本語の話し方といった音声表現の基礎を学び、周囲とあたたかい関係(絆)を築く。	どのようにしたら思いを伝えられるのか、どうしたら好感を持たれる話し方が出来るのかということ、音声表現の基礎を学ぶことにより、そのコツをつかむことができた。この技術を習得することにより、周囲とあたたかい関係(絆)を築く第一歩とすることが期待できる。	講座づくりで地域(周囲)社会を活性化させる担い手となる方に如何に参加してもらうかが課題ある。
会場	福祉支援センター		
期日	5/31 6/7 6/14 6/21 7/5 7/12	ねらい・目的	対象
講師	柳澤 淳子(交渉学会理事)		一般市民(高齢・成人・青年)
講師謝礼	90,000	コミュニケーションを円滑にするための発音の基礎から、話し方で大事なこと、敬語の使い方、好感を持たれる話し方といった音声表現の基礎を学び、周囲とあたたかい関係を築く話し方を学ぶことを目的とした。	実施時間
募集人数	24		
参加者延べ人数	118		木曜日、午後2時から午後4時

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	おもちゃドクター養成講座「おもちゃドクターになろう」		
内容	道具の使い方や修理手順等、実技を交えた指導を受け、おもちゃ修理の基礎技術を習得する。講座終了後、おもちゃの修理を通じて市民と交流し、地域で活動に役立てていただくことを目指した。 ※既存のおもちゃドクターの会に新たな参加者があった。	団塊世代のシニアの方が大半だった。講師二人がドクターの心構え、基礎知識、修理実習等を交互に説明した。修理実習の補助は、おもちゃドクターの会会員が行った。3回の講座終了後、参加者の何人かがインターンとして、おもちゃドクターの会の活動(児童館・イベント等)に参加した。約半年間のインターン終了後おもちゃドクターの会に加入した。	受講生を社会参加に導く際に関係者間の意思疎通をうまく進めることが課題となる。
会場	中央公民館		
期日	9/13 9/20 9/27	ねらい・目的	対象
講師	谷 正志・下野 暁(日本おもちゃ病院協会会員・元理事)		市民(シニア世代)
講師謝礼	0		実施時間
募集人数	20	中高年の新たな社会参加の機会やきっかけ作りを目的とする。	
参加者延べ人数	47		木曜日、午後1時30分～4時30分

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(10)地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

講座・事業数	5	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	210,000
--------	---	-------------------	---------

1	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	わがまち日野市の財政を理解しよう(前期)	前後期通して10回の講座だった。少ないながら、受講者は非常に熱心だったが、その反面、自分が関心ある分野に深く入りすぎて、全体としてうまく進んでいるとはいえない。後期講座終了後、勉強会が立ち上がったが、数回で休会状態になってしまった。	サークル化に向けた準備と個別の支援をどのようにプログラムするかが課題である。
内容	日野市の財政状況を理解し、持続可能な、かつ豊かな市民生活を将来にわたって構築し、市民の手で財政白書を作れるような芽をつくっていくことを目的とする。		
会場	中央公民館 市民の森ふれあいホール		
期日	6/23 6/30 7/14 7/28 9/8		
講師	大和田一紘(多摩住民自治研究所)		
講師謝礼	60,000	ねらい・目的	対象
募集人数	15	実施時間	
参加者延べ人数	46		土曜日、午後2時～午後4時

2	成人事業	担当者評価	これからの課題
事業名	わがまち日野市の財政を理解しよう(後期)	同左	同左
内容	日野市の財政状況を理解し、持続可能な、かつ豊かな市民生活を将来にわたって構築し、市民の手で財政白書を作れるような芽をつくっていくことを目的とする。		
会場	中央公民館 市民の森ふれあいホール		
期日	9/29 10/13 11/10 11/17 12/2		
講師	大和田一紘(多摩住民自治研究所)		
講師謝礼	60,000	ねらい・目的	対象
募集人数	15		
参加者延べ人数	39		土曜日(日曜)午後2時～午後4時

3	高齢者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	程久保うたごえパーク	歌う曲の思い出や感想を参加者にトークの形で話していただいて参加者の交流が広がるようにしている。	人が集まる人気の事業であるが現状のままでは会場の関係で人数がふやせない。机等を外した形の工夫を行って行きたい。
内容	高齢者が集える場をつくり、歌ったり会話をしたりすることでストレス解消・リフレッシュ・健康増進などを図るとともに、仲間づくりや生きがい・楽しみを見出してもらうことを目的とする。		
会場	中央公民館高幡台分室		
期日	4/14 5/12 6/9 7/14 9/8 10/13 11/10 1/12 2/9 3/9		
講師	樋口周子(キーボード) 村田美果(箏) 小林晴美(クラリネット)		
講師謝礼	60,000	ねらい・目的	対象
募集人数	各回30人	実施時間	
参加者延べ人数	253		土曜日、午前10時～11時30分

4	その他	担当者評価	これからの課題
事業名	公民館だより発行	今年度から手作り・自主発行となった。編集委員とどのように作業を分担していくのか、しっかりと考える必要がある。また、市民への配布について、当面は自治会回覧でおこなっているが、従来の新聞折込に比較すると伝わり方に大きな差がある。	編集委員との作業分担、進め方。編集作業の効率化、自治会への配布の方法を考える。広く市民に伝える方法の検討。
内容	公民館だより編集会議を経て 年4回発行。一回6,000部～7,000部を市内印刷し、自治会に回覧を依頼しているほか、公共施設等に配置している。		
会場			
期日	5月、8月、11月、2月発行		
講師			
講師謝礼		ねらい・目的	対象
募集人数			
参加者延べ人数			全市民
		実施時間	
			土曜日、午前10時～11時30分

# 日野市中央公民館の運営状況に関する評価のための資料

平成24年度中央公民館基本施策(10)地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

講座・事業数	5	年間経費(謝礼・出演料・委託料計)	210,000
--------	---	-------------------	---------

5	高齢者事業	担当者評価	これからの課題
事業名	老後の備えを万全に	実生活に役立つ知識が多く参加者に好評でした。継続的にやっていきたい講座。	今回は、1日に3コマの実施としたが、1つのテーマに時間をもう少しかけるため、時間・日程設定を考慮する必要がある。
内容	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加する高齢化社会の中で、高齢者が老後を安心して過ごせるための基礎知識を学習し、快適で充実した老後を過ごしてもらうことを目的とした事業を実施するため。 ①成年後見制度について(概要と手続きなど) ②相続と遺言について ③長寿社会と医療保険制度について		
会場	中央福祉センター		
期日	3/30に3コマ実施	ねらい・目的	対象
講師	1部 倉本貴行、2部 後藤親司、3部 栗原誠(関東シニアライフアドバイザー協会、同会年金・福祉研究会)	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加する高齢化社会の中で、高齢者が老後を安心して過ごせるための基礎知識を学習し、快適で充実した老後を過ごしてもらうことを目的とする。	高齢者
講師謝礼	30,000		実施時間
募集人数	40		土曜日、午前10時～午後4時30分
参加者延べ人数	89		

## 第24期公民館運営審議会委員名簿

委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	枝川 一巳	公募による市民
委員	大山 明	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	岡部 君夫	学校教育の関係者
委員	酒井 烈	学識経験者
委員	白尾 美佳	学識経験者
副委員長	鈴木 辰郎	学識経験者
委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
委員	森 紘道	社会教育の関係者（平成25年6月30日まで）
委員	樋口 周子	社会教育の関係者（平成25年7月1日から）
任期	自 平成24年7月 1日	
	至 平成26年6月30日	

日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書  
—平成 24 年度（2012 年度）事業について—

平成 25 年 10 月発行

発行 日野市中央公民館

編集 日野市教育委員会教育部日野市中央公民館

〒191-0011

東京都日野市日野本町七丁目 5 番地の 23

電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110